

あなたのボランティア活動を応援する情報誌だよ！



R5. 2. 1
127号

ぼらんていあ川口

社会福祉法人 川口市社会福祉協議会
かわぐちボランティアセンター
編集：ぼらんていあ川口編集員
〒332-0015
川口市川口1丁目1番1号キューポ・ラ本館棟M4階
かわぐち市民パートナーズステーション内
TEL：048-227-7640 FAX：048-227-7641
<http://www.kwgc-borasen.jp/>

報告

「ボランティア体験講座」を開催しました！

令和4年11月11日（金）にボランティア体験講座を開催しました。

今回の講座は、初めてボランティアを行う人向けの講座で、ボランティアについての心構えの説明や参加した7つの団体それぞれが行っているボランティア活動について説明を行いました。

後日、受講者が興味のあるボランティア活動を体験し、ほとんどのかたが今後も継続して活動することになりました。これからのボランティア活動に期待します。



▲講座受講の様子



▲各ブースの様子



▲ぼらんていあ川口編集員のブース

令和5年度ボランティア活動保険について

かわぐちボランティアセンターでは、万が一に備えてボランティア活動中の様々な事故によるケガや賠償責任を補償するボランティア活動保険への加入をお勧めしています。

現在ご加入のかたは、令和5年3月31日で補償期間が終了します。4月1日からも引き続き安心して活動できるようにお早めにご加入ください。

【団体に保険に加入するには】

- ①社協の会員、又はボランティアセンターに登録されているグループ・団体であることが条件です。
- ②登録・更新していない団体や病院、施設については、社協会員への加入が必要となります。

令和5年度ボランティア活動保険の
受付は、3月7日（火）から開始します。

▶詳細については、ふくしの保険のホームページなどでご確認ください。

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険





川口市視覚障害者福祉協会

団体紹介

本号では、かわぐちボランティアセンターの登録団体であり、赤い羽根共同募金の街頭募金など幅広くボランティアに取り組んでいる「川口市視覚障害者福祉協会」のスポーツ部の活動を中心に紹介します。

◆団体発足の目的、活動について

市内在住の視覚障害者の福祉の増進と自立の推進を図り、社会参加を目的に昭和55年に発足しました。

現在の会員数は25名、活動の際には、視覚障害者だけではできないことが多いため、ボランティアのかたがたに協力していただきながら活動しています。



<活動内容>

スポーツ部では、サウンドテーブルテニス(わかゆりSTT※)を毎月2回行っているほか、夏休みこどもボランティアサロンや青少年ボランティアスクールに協力しています。

女性部では、年に数回、料理教室を中央ふれあい館で行っており、昨年はサンドウィッチや肉と野菜のメニューに挑戦しました。

その他、ウォーキングなどのイベントを企画、昨年6月に実施した「歩こう・バリアフリー点検」では、点字ブロック・点字表示の状況や危険個所のチェックなどを行いました。



※「わかゆりSTT」とは？

サウンドテーブルテニス(STT)の活動グループです。平成12年の立ち上げから20年以上続く活動です。日頃の練習に加え、他のSTTグループとの交流試合や県大会などに参加しており、国体に出場したかたもいます。(STTは“Sound Table Tennis”の略です)



◆今後の活動について

視覚障害者の中には、孤立し引きこもってしまうかたがいます。そのような状況を減らすために、関係機関と連携を図りながら活動し、孤立防止に努めています。

また、視覚障害者同士だけではなく、健常者とも交流することで、楽しみを増やしています。

ボランティアは現在10名程度、一緒に活動していただけるボランティアを増やしていきたいと思っています。そのためPR活動を積極的に行っていきます。



「青少年ボランティア部」の活動を紹介します

ボランティア部の活動は令和4年10月から始まりました。部員は、市内の中学生から25歳までの学生や社会人で、現在20人以上が活動しています。

活動の様子を写真で紹介します。



▲使用済み切手の整理



▲高齢者施設での炊き出し訓練



▲部員のみなさん

青少年のみなさん、
「青少年ボランティア部」に入部して、
一緒にボランティア活動をしましょう！

活動は毎月1回、毎回参加できなくても大丈夫。参加を希望される方は、下記のQRコードから入部してね。



※次号では、部員の声を紹介します。

サウンドテーブルテニス(STT)見学報告

令和4年12月5日、中央ふれあい館で“サウンドテーブルテニス(STT)”の活動を見学しました。当日の参加者は会員8名とボランティア7名。練習では編集員もSTTを体験させていただきました。

【STTを体験して】

STTは、卓球台のネット下の隙間に球を転がして打ち合い、打球のコースは球の中の金属粒の音で判断します。練習は、1台に3人位のボランティアが誘導・審判・球拾い・練習相手としてサポートしながら進められました。

STTを実際にやってみて、皆さんの強烈なショットに驚き、見えているのにレシーブできず思わず熱が入りました。練習相手のボランティアも一緒に楽しめるスポーツだと感じました。



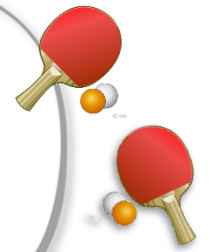
「行きま〜す」「ハイ」のかけ声でラリーがスタートします

【参加者より】

STTへの思いや今後の希望など、意見交換で伺ったお話の一部を紹介します。

●会員の声

- ・小学生で盲卓球を体験してから続けてきましたが、まだまだレベルアップしたいです。
- ・交流試合に出場して刺激を受けてきました。これからも頑張ります。
- ・STTは、始めたその日から楽しめるのが魅力。まずは気軽に体験してみてください。



●ボランティアの声

- ・退職後に夫婦で参加。足が少し悪いのですが活動はできるので長く続けたいです。
- ・会員の皆さんは本当に明るいので、楽しく活動しています。新たな気づきも多いです。
- ・ボランティアの協力者を増やしたい。来られるときに手伝っていただきたいです。



意見交換の様子

ボランティア募集中

★サウンドテーブルテニスを一緒に楽しみませんか！★

「わかゆりSTT」では、会員の活動をサポートしていただけるボランティアを募集しています。不定期参加も可能、見学も大歓迎です。是非お問い合わせください。

- ・開催日：第1・3月曜日 13:00~16:30
- ・場所：中央ふれあい館3階 視聴覚室 (川口市本町4-5-26)
- ・連絡先：川口市視覚障害者福祉協会 大井田 TEL: 090-3138-6152



◆使用済み切手の収集にご協力をお願いします◆

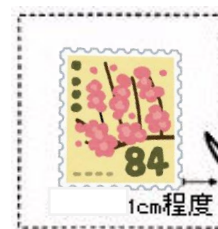
ボランティアセンターでは、集まった使用済み切手を換金し、ボランティアセンターの事業（ぼらんていあ川口の発行など）で活用させていただいております。そのため、使用済み切手の収集にご協力をお願いします。※使用済みカードやベルマークなどは集めておりません。

<受付できる切手>

- ① 封筒や葉書から切手をはがさないでください。
- ② 切手の周りの台紙を1 cm残し切り取ってください。
※消印が押されているか確認してください。



▲台紙を 1 cm 残して切っている切手



<受付できない切手>

- ① 切手の周りをギリギリに切っている切手。
- ② 収集しているものは、使用済み切手のみです。
※スタンプのものは収集できません。



▲切手の周りがギリギリに切られている切手



▲スタンプのもの



▲こちらは切手ではありません

収集場所 かわぐちボランティアセンター
〒332-0015
川口市川口1-1-1キュポ・ラ本館棟 M4 階
問い合わせ TEL 048-227-7640



注目!

かわぐちボランティアセンター 公式LINE 開設します!

かわぐちボランティアセンターでは情報発信を行うため、LINE 公式アカウントを開設します!

ボランティアに関する情報や各種講座、イベント、災害ボランティアに関する情報などさまざまな情報をお届けします。ぜひ友達追加してね!



編集後記

令和 5 年の年明け、荒川沿いの田島ヶ原サクラソウ自生地（国指定特別天然記念物）では草焼きが終わり、春の芽立ちと開花を待つばかり。何かと気がかりが多いこの頃ですが、かわいい草花や季節を楽しめるような穏やかな一年になることを祈念します。

コロナ禍は続いていますが、行動制限緩和により各団体の活動は徐々に再開、メンバー募集も増えてきました。本誌編集員は昨年末から 1 名増強。各種団体とボランティア希望者をつなぐため、一助となるような誌面づくりを心がけたいと思います。
(ぼらんていあ川口編集員 K.I.)